

# 聖母の小さな学校 通信

第 82 号  
2013 年  
7 月 1 日発行  
聖母の小さな学校

## 1 学期をまとめる時です。ていねいに、自分をみてみましょう！ そして、自分でつかんだ実りを大切にしましょう！

紫陽花も美しく咲き、私たちを楽しませてくれます。平素は、聖母の小さな学校の教育に格別にご協力いただきありがとうございます。

いよいよ 1 学期もまとめをする月になりました。生徒たちは 1 学期の自分の目標と改めて対峙し、自分の 1 学期を振り返ってみます。成果だけを求めるのではなく、自分のあらゆる行動を見てみます。そうすると、そこに自分の努力したことや、自分が見ることを避けていたことや、親との間のこと、また、自分の生活のこと、いろいろなことがわかります。子どもだけで振り返るのではなく、親も振り返ってみてください。今まで考えずに毎日の生活に振り回されていた自分に気づきます。日々の生活をていねいにしなかったことが、子どもに生活力を付けていなかったことに気づいたりすることもあります。子どもたちが不登校になり、そこをていねいに生き、生活して乗り越える時の基礎的な力が、実は、基本的な生活の力なのです。親は、「起きる、食事をする、仕事をする、寝る」。これを子どもと共にしましょう。子どもの姿が、しっかり見えるような親になってください。

生徒たちは聖母の小さな学校に通うことにより、日々の生活を整えています。生活を整えると、自分の中に 1 日をどのように、何をして過ごそうか、更に、何をしなければならぬか、と言うことが考えられるようになり、生活が徐々に自分のものになります。そして、自分自身との関わり、人との関わり、社会との関わりが生まれます。そういう力をつけています。

また、生徒たちは、日々の学習の中で、自分自身の課題をつかみ「人に問いかける、また、問われたら応える」という練習をしたり、大勢の人の中に出る体験として「舞鶴市少年の主張大会」の見学をしたりしました。このことは、特に、自分と同じ中学生が何を考えているか、どんな思いを持っているのかを知る、良い体験になりました。自分の学校の校長先生にやさしく声をかけてもらったりして、拒否した学校と少し仲良くなれそうな気もしました。また、自身の日常生活についても、少しずつ気づき始めています。家で積極的に手伝うとか、人には挨拶をするとか、人間としてあたりまえのことを身につけようとしている様です。家庭では、子どもたちの小さな好ましい変化をしっかりとらえてください。そうすれば、「家庭」も好ましい小さな変化をとげることができます。

今月も、面接をしっかり取ってください（在籍してなくても、面接はできますので、お勧めください。また、学期末保護者会は、原籍校の先生方にも出ていただきます。両親で出席してください）。



福祉学習「盲導犬訓練センター（亀岡）」見学



特別授業「体育（柔道）：  
松岡先生（城南中学校）」  
（城南中学校武道場にて）